



聞き書き研究会は、江戸川区を愛し、江戸川区で強く逞しく生きた女性の姿を聞き書きとして残すため、江戸川区女性センターの区民ボランティアが2010年に始めた活動です。女性センターは2020年に人権・男女共同参画推進センターに統合され、この活動を所管しています。

「桜はヒマラヤの麓から」 — 江戸川区で桜守を —

いとう ふさよ
伊藤房代

1944年(昭和19年)
アンソン
旧朝鮮安東生まれ
北小岩在住



いのちを見守る人に

最初は公園ボランティアでした。仕事をしているから、できるときがあってもなくても差しさわりのない、地域のなかでひとりでもできることでした。江戸川区の環境促進事業団、今はえどがわ環境財団に「わたしにできること何かありませんか」と伺って。北小岩二丁目第二児童遊園というところでおそうじを、日曜だけ。「おひさまクラブ」というんですけど、まだ続けています。

そのうちに「桜守」というのが江戸川区にできたんですね(2010年)。講習があって、1年目は無理だったので、次の年に受けさせてもらいました。「日本花の会」というところから講師がきて、グリーンパレスで年に4回の講習。春、夏、秋、冬と季節ごとに1回の講義と実習がありました。テーマは桜のルーツ、害虫、光合成、肥料など。3年くらいそんなことを続けてたんです。これ聴いているだけでどうするんですか、と思いながら。そうしたら、国立市の桜守をやっているところへ見学に連れて行ってくれたんですね。説明をしてくださった方が「桜守って桜をみてるだけじゃないんだよ」とおっしゃっていました。「桜を媒体にして、環境のこととか、温暖化のこととか、いろんなことが全部つながってくるんだよ」って。それを小学生、中学生に向けてやっけて。ああ、わたしもそれをやりたいなあと思ったんです。小学生のときから身近なことを通して、環境を学ぶ。桜を通してね。そういう問題というのは大人になって勉強するよりも日々の生活の中で身につけていくことが大切だと思いました。そういう思いを行動に移したい、それを子どもたちに伝えたいと思っていたんです。いのちを見守る人。桜守として。

北小岩小学校の桜はもともと30本あったんですよ。開校するときに周りの方たちが植えたのだとか。60何年経つと変わってきますよね。桜はいま28本。その中にも傷んでいる木はあるし、やはり毎日見守らないと。2021年の暮れに枝が折れて落ちたんです。枝をビニール袋に入れて持ち帰りました。授業で使います。コスカシバというハチに似た虫が幹にたまごを産みつけて、幼虫になると木の中を食べてちゃうんです。きれいにね。羽化して袋のなかでパタパタしてます。

毎日、見に行きたいんです。「元気してる?」「元気でね」って。子どもに声をかけるのと同じように、毎日、毎日ね。子どもたちの授業は桜の咲く前、3年生の春に1回、4年生になって季節に合わせて3回やる。桜は6年生までは3回咲いてくれるから。もう駄目だよと言われていた木が1本あるんだけど、横から根が張って、新しい芽が出て、花を咲かせています。子どもたちも、それを見えています。あきらめることはないよ、だめだと思っていた桜がこうして生きているんだから。大事なことは生き抜くこと。がんばって咲いている桜が生きていくことはもちろん、桜の生きる力、可能性を子どもたちが一人でも二人でも、印象に残してくれたいなと思っています。でなきゃ、わたし桜守ここでやっける意味がない。



◆北小岩小学校の桜を見守る

北小岩小学校の桜守に

環境財団の方が、区の教育委員会とかいろんなところへ話をしてくださって、小学校で授業をすることになりました。わたしが北小岩に住んでいることもあって、その時の北小岩小学校の校長先生からやってくださいと声をかけられました。2014年ですから、8年くらいになりますかね。コロナで中断しています。

わたしのルーツは

桜はもともとヒマラヤの麓にルーツがあります。実は食べ物としてヨーロッパへ。花は、日本へ。花を愛でるといふ独特の文化としてやってきました。

わたしのルーツは日本の統治下にあった旧朝鮮安東市

で、昭和19年(1944年)に生まれました。終戦の年(昭和20年)母の背におぶわれて日本に帰ってきました。父は残務整理のために残りました。朝鮮の営林署に勤める公務員でした。わたしは父の実家、岡山県勝田郡勝央町かつたぐんしやうおうまちで育ちました。祖父が製材所を経営していて、2人の弟と妹はここで生まれました。その後帰国した父は、元の職場である県庁には戻らず、祖父を手伝うため家の近くの営林署に勤めました。すごく裕福でもないけど、それなりに暮らしていました。年末のお餅つきをするときには、何軒か一緒に朝早くから夜遅くまで集まっています。そういうことを覚えています。

そのころは女の子の子関係なく、わさわさ遊びましたね。山で遊んだり、虫採りしたり、クワガタ、カブト、稲が実ってくるとイナゴ捕りがおもしろかったですね。小学生のころから絵の塾に行っていました。そんなに本を読むほうじゃなかったのですが、父が『小公女』という絵本を買ってきてくれました。絵がきれいでした。お習字もやりました。絵は楽しかったし、お習字もすごく楽しかった。絵を描くのは好き。墨の匂いも好き。家からちょっと西に行ったところに津山城つやまというお城があるんです。城壁の石垣しか残ってないのですが、そこで春に桜が咲くと、写生大会がありました。

高校進学するとき工業高校建築科を希望したのですが「女生徒を受け入れたことがない。トイレがない。」と拒否され普通科に進学しました。卒業してから、大阪府立の職業訓練所を見つけました。意匠圖案工科というのがあったのね。商業デザインはそれまで見たこともなくて、それでそこへ。大阪に父の妹一家がいたので、間借りさせてもらって通いました。職業訓練所なので、2年間いろんなことを広く浅く学びました。それこそテキストからグラフィックまで。訓練生の年齢もさまざまで、地方からきた人たちも仲良くなって、京都とかも近いので美術館巡りをしたりしました。そこからデザイン事務所に就職したのですが、やっぱり東京に出たいと思ったんです。印刷会社を紹介してくださいました方がいて、東京へ。



◆大阪府立女子総合職業訓練所の前で学友と(向かって右端が話者)

40歳が転機

大阪から東京に越してきたのは、東京オリンピックの次の年。最初は柿の木坂です。目黒区の。狭いのに家賃が高くて、葛飾区の新小岩に越しました。仕事先がお茶の水だったので、総武線沿線で探したら、安いところは新小岩だったんです。結婚して、初めは葛飾区細田で、夫の親と同居しました。その後

親と別居して道を隔てた西小岩に越したら、そこは江戸川区でした。江戸川区に50年住んでいます。結婚しても会社に勤めていました。子どもが生まれてからは子育てしながら、在宅で仕事を受けていました。

でも、わたし離婚したんです。40歳で。子どもたちは小学校6年、4年、1年でした。子どもに食べさせないといけなかったから、当時言われていた「よい母親」をやめて生活のために外で「働く母親」になったんです。子どもが3人いたから、「働く母親」になり、会社勤めを続けられました。今思うと、大きな転機でしたね。でもそこは大きな印刷会社の下請けの会社でした。給料は安いし、これからのめどをたててはいけなかったので、平成2年に、赤坂に事務所を借りて独立しました。

会社は印刷関係はんしたというか、印刷する前のデザインや版下製作をやっていました。仕事には納期があって、ずうっと赤坂の事務所で仕事して、始発の電車で帰って、子どもたちに朝ごはん食べさせて、学校に送り出して、また仕事に戻って。近所の人たちが見守ってくださいました。八百屋さんとかも「大丈夫だよ。子どもたちちゃんとやっていたよ」とよく言ってくれました。

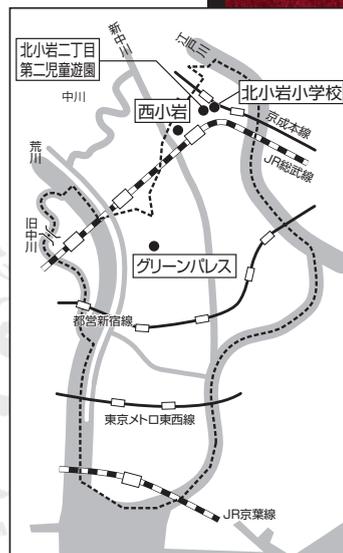
そんな立派な会社ではないんですけど、なんとか30年続けてこられました。いろいろありましたよ。パブルがはじけるやら、リーマンショックやら。震災のときは流通が止まる。紙がないから動かない。社員は息子たちの他に何人かいたんですけど、機材とかが発達してきたので、家族だけの会社になりました。今はパソコンひとつあれば、データにして送ればできちゃう仕事も多い。なんでもできることはやろうみたいな会社です。

日本花の会主催の桜シンポジウムというのが、毎年いろんなところで開かれます。2016年の開催地が江戸川区だったんですね。その年には、区でもすごく力が入っていたの。2010年始まった桜守の講習を受けた人が、のべ千人近くいます。「桜守」をもう一度復活させたいと思っています。

なんだかんだで80歳が近くなり、これからどうしようかと思うようになりました。いまのところ小学校での授業もないけれど、続けて桜守をやらせてもらって、資料を残していこうかなど。絵にして、写真にして、イラストを入れたり。北小岩小学校だけでも何種類も桜がある。桜って1年が周期、それを毎年つないでいく。いのちの見守りです。

ムラサキハナナ(紫花菜)という菜の花みたく、背は高いけど、かわいい花が咲く植物があるんです。この種を桜の根元にま蒔きます。桜の根って、下へもぐらないで横に広がっているの。枝と根が同じ広さ。だから、そこを人が踏んで根を傷めないように花を植えるのです。

毎年、きれいに咲いている桜を見て「いいね」って思う。桜吹雪、何か花がぶわーっと音をたてて舞って、ほんとにきれいだし、感激というか、ほんとうにいのちすこって凄いなと思います。



◆インタビュー/2022年1月
/2022年4月
/2022年9月
◆聞き手/村田正子、小野塚和江
◆コーディネーター/樋口政則